

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム まきびの丘

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 12 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	トイレ内のオムツやパット類の外装に入居者の名前を記入して置いていることは、プライバシーの配慮に欠けている。	左記の事項はあくまで職員の業務効率を優先させたものなので、最善策として業務効率を考えながらも、入居者の生活の質の維持向上を図っていくことを目標とする。	トイレ内の環境整備という観点からも、オムツ類の棚には目隠しをし、プライバシーを確保。さらに、トイレの扉が半開きになって用を足していないかどうかにも気をつけ、プライバシーに配慮する。	3ヶ月
2	35	災害対策に関しては立地上、周囲に民家がないため、近隣住民の協力を得ることが難しい。また、災害時の食料備蓄なども飲料水の確保のみで現状は脆弱。	年2回の避難訓練の実施にとどまらず、近隣住民を巻き込んだ災害対策を目指す。	避難訓練に関しては、運営推進会議の際に執り行うなど工夫をする。食料備蓄に関しては、周辺施設の状況もヒアリングしながら、必要なものを整備していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。